



● KEK 史料室の資料

高エネルギー物理学研究所 (高エネ研; KEK) の母体は、1955 年東京都田無町 (現在の西東京市) に設立された、実験物理学の分野として日本で初めての共同利用研究所、東京大学原子核研究所 (核研; INS) です。日本で高エネルギー物理学の実験が始まったのは、1961 年この核研に電子シンクロトロン (INS-ES) が誕生した時でした。その後 1964 年、核研内に素粒子研究所準備室が設置され、1971 年つくばに高エネ研が創設されました。

1997 年、高エネルギー加速器研究機構として改組された際に、その後の法人化の動きを見据えていた当時の菅原寛孝機構長は、KEK の活動に関わる資料整理の必要性を痛感し、高エネ研発足当時から関わっていた高橋嘉右名誉教授に資料の収集・整理を依頼しました。高橋名誉教授は 2000 年末に米国から帰国すると早速本機構においてアーカイブズの作業部会を開催する事から手がけ、核研時代から脈々とつながる我が国の高エネルギー物理学および高エネルギー加速器の研究に関わる歴史的資料の収集を行なう事になりました。

1997 年の機構化の際、幸い高エネ研、核研等の資料はあまり散逸されずにつくばに集まることになったため、核研の設立前からの歴史的に重要な史料や高エネ研の議事録等が KEK 史料室に保管されていて、現在その整理が進められ、KEK 史料室のホームページからその状況が公開されています。実際に資料を見たい方は、KEK 史料室までお問い合わせください。

KEK 史料室ホームページ: <http://www.kek.jp/archives/>

展 示 内 容

- 年表「日本における加速器の歴史 その3」
(1955 年から現在までの KEK を中心とした主な出来事)
- PS (陽子シンクロトロン) 模型
- TRISTAN TOPAZ 検出器 模型
- 航空写真でみる KEK の今と昔
- 映像でみる素粒子・原子核研究の歴史
＜ビデオ上映＞
 - 「見えないものを見つけない」
—加速器の過去・現在・未来— (29 分)
イギリス、アメリカそして日本にまたがる加速器の開発史と未来を描いた科学番組
 - 「素粒子を探る」 (約 25 分)
 - 「ミクロ・コスモス —加速器科学の最前線—」 (24 分)
- 泡箱フィルムでみる素粒子の足跡
(実際のフィルムで作った葉を差し上げます)



KEK 史料室の活動と現況

● 各種史料の収集と利用

現在 KEK 史料室が収集・整理しているおもな文書は以下のように分類できます。

1. 高エネ研における非現用文書（評議員会議、運営協議員会議等の議事録等）
2. その他機構関連史料（核研関係、関連研究者からの寄贈文書等）
3. 高エネ研・本機構関連研究施設・設備などの写真やスライド・ビデオ等
4. 旧プロジェクトの機器遺産

高エネ研の設立にあたり、当時の文部省とどのように折衝してきたか、また運営協議員会議ではどのような協議がなされてきたかを如実に物語るのには、当時の議事要録などです。その他法人になってからの法人文書に関しては現在、管理局と連携を持って、その保存年限を経過した文書（非現用文書）を評価選別して受け入れ、保管していく準備を進めています。また、保管されている資料の検索、閲覧などについては、KEK 史料室へお問い合わせください。

● 本機構内外における“アーカイブズ事業”に対する理解協力の醸成

本機構内においては、アーカイブズに関する所内規則などの整備、すなわち機構の職員・研究者が移動・退職などの時点で保有する文書等をどう処理すべきか、等をフローチャートで表わすといった作業が必要です。この件に関しては、史料委員会でも協議されて近いうちに所員に徹底する規則が制定される予定です。機構内だけでなく機構外に向けても理解協力を得るためには、ウェブでの公開やパンフレット等の作成が効果的なことです。アーカイブズという言葉自体まだ一般的に浸透していない現在、まず KEK 史料室の存在を機構内外に知ってもらうことが重要な課題です。

● アーカイブズ事業における国内および海外との共同研究・リンケージの推進

国立大学法人・総合研究大学院大学と協力して、「KEK 最初の十年」と題する共同研究を行なっています。さらに、自然科学系分野の各種研究機関における史料室等との情報交換を推進中で、ネットワーク作成をめざしています。これを機会に KEK 史料室における研究協力体制が培われることを願っています。また、総研大の専攻科を有する核融合科学研究所、分子科学研究所、国立天文台、極地研究所等と KEK が中心となって、資料項目共通化による横断的資料検索システムの構築を進めています。つまり連携する各研究機関が保管する資料に、規格化された共通な項目を付けたデータベースを構築することによって、組織を超えた統合検索が可能になります。このような自然科学系分野におけるアーカイブズの共有ネットワークが広がり、科学史、科学技術史あるいは科学社会学の研究者（またはアーキビスト）と協力して、史料そのものに対する共同研究がさかんに行なわれるようになった時、私達の史料はより広く社会のものとして存在するようになり、その重要性が広く認識されるようになるに違いありません。

● KEK 史料室年表

- | | |
|-------------|---|
| 2001 年頃から | 菅原機構長（当時）発案で高橋名誉教授活動はじめる
菅原機構長（当時）裁量のもとで史料室（仮称）が置かれる |
| 2002 年 4 月 | 第 1 回作業部会 |
| 2004 年 4 月 | 機構内国際社会連携部の下に
KEK 史料室が正式な組織として設置
初代室長、着任 |
| 2006 年 3 月 | 初代室長、転出 |
| 2006 年 7 月 | 現室長、着任 |
| 2006 年 9 月 | KEK 一般公開
「朝永振一郎博士と共同利用研」展示 |
| 2007 年 1 月 | 第 16 回作業部会 |
| 2007 年 4 月 | 機構において史料委員会規程が定められる |
| 2007 年 9 月 | KEK 一般公開
「日本における加速器の歴史 I」展示 |
| 2007 年 10 月 | 第 1 回史料委員会開催 |
| 2008 年 2 月 | 第 2 回史料委員会開催 |
| 2008 年 9 月 | KEK 一般公開
「日本における加速器の歴史 II」展示 |
| 2009 年 1 月 | 第 3 回史料委員会開催 |
| 2009 年 9 月 | KEK 一般公開「ただ今始動中！」展示 |
| 2010 年 6 月 | 第 4 回史料委員会開催 |
| 2010 年 9 月 | 利用規則施行 |
| 2010 年 9 月 | KEK 一般公開
「日本における加速器の歴史 3」展示 |

